



## 1時間じかんはどうして60分ぶんなの、1分ぶんは60秒びょうなの

### 60進法しんぽうを使つかっているから

わたしたちは、ふだん何気なく1時間じかんは60分ぶん、1分ぶんは60秒びょうというのを使つかっています。なぜ、10で区切らず、60で区切ったのでしょうか。

これは、60進法しんぽうという数の数え方で、60で一つ上の単位たんいにくり上がるという考え方をかんがする方法です。現在、わたしたちは、10でひとけたくり上がる、10進数しんすうという数の数え方かたを中心ちゅうしんに使つかっていますが、昔むかしは、60進法しんぽうの数え方かたが使つかわれていたのです。

この60進法しんぽうの数え方かたを考え出したのは、今いまからおよそ4000年前ねんまえ、バビロニア地方ちほうに住すんでいた人ひとたちなのです。

このときの60進法しんぽうが、今いまの時間じかんの数え方かたに使つかわれているのです。その後ご、少しづつ改良かいりょうされながら、現在げんざいのようになったのです。

### どうして60という数字すうじを使つかったのか

なぜ、数かずの中で60という数字すうじが使つかわれたのでしょうか。これは、あまりにも昔むかしのことなので、はっきりとは分かりません。おそらく、60はたくさんの数かずで、わり切わきれるからだったのでしょうか。60は2, 3, 4, 5, 6, 10, 12, 15, 20, 30でわり切わきれる数字すうじです。これほどたくさんの数かずで、わり切わきれる数字すうじというのはあまりありません。こういったことから、昔むかしの人ひとたちは、60という数字すうじを、かなり特別な数字とくべつだと考えかんがえていたのでしょう。(監修・田代 脩)

